

矢巾町

みんなで築く
躍動感あふれ
幸せな未来へ
進化するまち
やはば



【南昌山ふもとの煙山ひまわりパークは、多くの観光客が訪れます】

矢巾町長 高橋 昌造
所在地 〒028-3692
岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅
第13地割123番地
TEL (019) 697-2111
FAX (019) 697-3700
URL <https://www.town.yahaba.iwate.jp>



町章

昭和32年9月制定。「矢」と「巾」を図案化し、三村合併による安定と遠心的なひろがりイメージしたもので、本町の平和と躍進を表現している。

■人 □■ 26,281人
■世帯数■ 11,084世帯
■面積■ 67.32km² (令和6年3月1日現在)

矢巾町の人口は、国勢調査では人口、世帯数とも微増を続けております。全国的に人口減少が進む中、人口に占める生産年齢人口の割合は県内で最も高く、6割を超え、若い世代の多い元気なまちとして、希望と誇りと活力にあふれ、躍動するまちづくりを進めています。

岩手県のほぼ中央に位置し、県庁所在地である盛岡市の南に隣接する矢巾町は、東に母なる北上川が流れ、西に町のシンボルである南昌山をはじめとする奥羽山脈の山並みが連なる自然豊かな町です。北上平野の沃野を活用した田園地帯が広がる一方で、県都盛岡市に隣接し、国道4号や東北縦貫自動車道が南北に走る交通の利便性から、商工業の発展も著しく、農・商・工のバランスのとれた発展を目指しています。

町の中心部に位置する矢巾スマートインターチェンジは、町内どこからでも車で12分以内、岩手流通センターからは5分以内と抜群のアクセスのよさを誇ります。さらに、16.5mセミトレーラー対応で終日利用可能と、通常のインターチェンジと同等の利便性を持つことから、物流の

さらなる活性化が期待されています。

教育機関も充実しており、岩手県立産業技術短期大学校では高度な専門教育が行われ、卒業生は県内外で広く活躍しています。また、岩手医科大学矢巾キャンパスは医学・歯学・薬学・看護学部を同一キャンパスに揃え、医療系総合大学として地域の医療を支える人材育成が行われています。令和元年9月に開院した医大附属病院の敷地内には、県立療育センター、盛岡となん支援学校、県対がん協会の健診施設が立地し、医療・福祉・教育の充実が図られています。

また、東北エリア最大級の大型物流施設「プロロジスパーク盛岡」が令和5年11月に竣工されました。物流の2024年問題が迫る中、新たな雇用や地域経済の発展に繋がることを期待しています。

【交通】

JR 東北本線(矢幅駅)、東北縦貫自動車道(矢巾スマートIC)、国道4号